

予算審査特別委員会

第62号議案・平成24年度白石市一般会計補正予算(第2号)から第65号議案・平成24年度白石市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)については、定例会3日目(9月7日)の本会議において質疑が行われた後、議長を除く全議員で構成する予算審査特別委員会が設置され、審査が付託されました。

同委員会(委員長・志村新一郎、副委員長・山田裕二)は、9月10日に現地調査を行った後、9月12日に審査を行い、第62号議案・平成24年度白石市一般会計補正予算(第2号)から第65号議案・平成24年度白石市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)については、表決の結果、全会一致で原案のとおり可決しました。

教育民生所管

◎第62号議案・平成24年度白石市一般会計補正予算(第2号)

〔質疑〕障がい児保育を充実するための保育体制強化事業について、何人ぐらいの障がい児受け入れを考えているのか。

また、何人の臨時職員を見込んでいるのか。今後、この事業を通して障がい児を積極的に広く受け入れていくのか。

〔答弁〕今回の補正予算については、園児を2名受け入れ、保育士は2名を予定している。障がい児保育の受け入れについては、保育園において集団保育が可能な限り、受け入れをしている。

〔質疑〕不活化ポリオワクチンを導入することにより接種回数が増え、予防接種のスケジュールが大幅になってくると思うが市民に対してどのように広報していくのか。

〔答弁〕不活化ポリオワクチ

総務財政所管

ンの導入については、今までは集団接種だったが、これからは個人接種ということになり、市で委託している各医療機関で接種していただくようになる。市としては接種方法のチラシを各個人に送付し、医療機関に連絡していただき接種日を決めていただくようになる。また電話で問い合わせをいただければ、保健師から接種方法等について説明をさせていただきたい。

〔質疑〕今回の白石市電波遮へい対策事業費等補助金の補正についてはデジタル放送の共同アンテナかと思うが、それぞれ何件に対応するもので、総額に対してどの程度補助するのかお尋ねしたい。

〔答弁〕今回の補正は2地域に対するものであり、上鹿子テレビ共同受信組合については戸数が19戸、総工費が1千71万円、補助額が93万5千円となっている。

次に、越河東地区テレビ共同受信組合については戸数が

7戸、総工費が630万円、補助額が528万5千円となっている。

自己負担もあるが、NHKから補助もあり、最終的には1戸当たりの7千円前後で設置できると考えている。

建設産業所管

〔質疑〕地域人材育成事業について、就労体験等、様々なマッチングのために経験を積むということだが、どれぐらいの期間、対象人数をどのくらい見込んでいるのか。

〔答弁〕地域事業就職マッチング事業については、基礎研修、それから企業での実践研修ということを目的として、できればその企業に定着していただきたいというのが最終目的である。求職者については大体30名ぐらいが目標と考えている。

大体1カ月間ぐらいの基礎研修があり、その会社のほうで実践研修を3月まで行い、その後、できれば直接雇用、派遣の形でその企業に入れることになれば、この事業の

成果が出た事になると思っ
ている。

〔質疑〕私道等整備補助金が計上されているが、どういうケースに対する補助金なのかお伺いしたい。

〔答弁〕今回の補正は、市内の私道路の舗装が壊れているのでそれを直したいという申請による私道修理用の補助金である。

私道の整備補助金交付基準等があり、主な基準は幅員が4メートル以上あること。市道に接続した延長が35メートル以上あること。私道路として5年以上、通行の用に供されていること。私道に面して5世帯以上の人が住んでおりそのうち、3世帯以上が持ち家であること等であり、補助率は50%である。

